

(様式1)

学校番号 (小 79)

令和7年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(北浜南小) 学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

- ・学校、地域のつながりを強化し、より具体的にする。
- ・これまで実施してきた活動(町びかびか活動、昔の遊び、仕事について話を聞く会等)を継続しながら、発展していけるような支援について熟議していく。
- ・自治会の参加のもと、地域との連携や地域活動の充実につなげていく。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

⇒ ア よくできた できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

- ・会全体では、委員のみなさんがそれぞれの立場で意見を述べられていたので、熟議が活発になされた。委員が疑問に思ったことを聞くことができた。
- ・学校運営等について校長より十分な説明があり、先生方と委員と共に、建設的な意見交換ができた。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

⇒ ア よくできた できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

- ・授業参観で教師と児童の信頼関係の強さを感じた。職員とのコンセンサスがとれ、充実した熟議ができた。
- ・継続した支援活動が地域の委員が増えた事により、更に充実できた。
- ・授業参観後に学年主任と意見交換をすることができ、子供の育成について熟議できた。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

⇒ ア 充分に行った 行った ウ あまり行わなかった エ 行わなかった
(理由)

- ・各学年の地域との連携、町びかびか、昔の遊び、ソフトボール投げで地域の方と協力できた。自治会と連携し、町びかびか等協力し、効果的に行うことができた。地域の委員の方が増えた事により、地域の情報発信における効果が高くなった。学校運営に対して、地域で協力できる事柄を地域に発信した。

＜評価項目4＞ 今年度の評価を踏まえた来年度の目標

- ・今までの活動を継続しつつ、教員と委員双方に負担の少ない、そして、南小の子供たちが心豊かでたくましい子に近づけるよう、熟議を重ねていく。
- ・地域連携が構築されてきたため、この連携を継続させながら、更なる発展をしていけるような持続可能な形を見出していく。